

地域連携NEWS

Vol.34 2012.9 発行

東京都健康長寿医療センター
地域連携部医療連携室

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL 03(3964)1141(代 表)

FAX 03(3964)1392(医療連携室)

副院長就任のご挨拶

東京都健康長寿医療センター

副院長 原田 和昌



我が国は平成23年の総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）が23.3%となり、超高齢化社会を迎えましたが、今でも高齢者を診ることは難しいと考えられています。それぞれの疾患に、加齢による臓器の機能低下が加わって複雑な病像を示すためです。当センターは、“高齢者に対して医療を行うこと”自体が先進医療であった時代からこれまで、豊富な病理解剖や臨床データに基づいて、高齢者の急性期、慢性期医療の標準化を行ってまいりました。

例えば、高齢者では心臓の歩調とりを行う洞機能が悪くなります。夜間の血圧が上昇し、変性型の弁膜症が増加します。心房細動が脳梗塞の重要な原因となります。また、高齢者の急性心筋梗塞に対する緊急冠動脈インターベンション治療は若年者と同様に有効であることもセンターが報告しました。これらは高齢者の診療のガイドとなっています。

今でも侵襲的な治療を高齢者に行うことへの抵抗は強いのですが、低侵襲な治療ならどうでしょうか？これからのセンターの使命のひとつは、経カテーテル的大動脈弁植え込み術（TAVI）などの低侵襲な先進治療の高齢者に対する効果を評価していくことにあります。もちろん、蓄積されたノウハウを用いて、地域の皆さんがお困りになっている複雑な病像を示す高齢者の治療に関してもこれまでどおりお役にたてると考えております。

過去の伝統に負けることなく、新しい建物で新しい伝統を作っていけるよう精進したいと思っております。今後ともどうか、よろしくご指導・ご鞭撻をお願いいたします。

『公開CPC』のご案内

9月27日（木） 19:30～ 3階医局会議室

診断症例：脳挫傷、悪性リンパ腫

多数の先生方の参加をお待ちしております。是非ご参加ください。

(申込不要・料金無料)



新病院建設中！



地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL

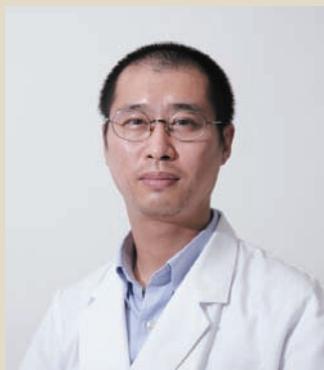


アクセス

- 東武東上線「大山」駅下車、南口・北口より徒歩5分
- 都営地下鉄三田線「板橋区役所前」駅下車A2出口より徒歩10分（徒歩80m/分）
また、お車でお越しの方に駐車場（駐車料無料）も御用意しておりますが駐車台数に限りがあるため、あらかじめご承知おきください。

『認知症疾患医療センター』のご案内

精神科 医長 古田 光



平成24年4月1日、当院は東京都より、認知症に関する「専門医療機関」「地域連携推進機関」「人材育成機関」の3つの役割を担う「認知症疾患医療センター」に指定されました。これを機に、「認知症専門医療相談室」を設置し、精神保健福祉士、認知症看護認定看護師、臨床心理士等のスタッフが、当事者・ご家族だけでなく医療機関や介護福祉機関からの認知症にかかわる医療相談に当たっています。

認知症疾患医療センターは二次保健医療圏に一か所指定されており、当院は区西北部二次医療圏（板橋区、北区、豊島区、練馬区）を担当していますので、他地域の方には該当地域の相談先等を案内しています。

もの忘れ外来の予約方法は今までどおりですが、同相談室で受診希望の方からお話を伺い、受診理由や患者さまの状況に応じ、予約日を調整したり、もの忘れ外来以外の科の受診をご案内したり、他の医療機関をご紹介したり、といった対応を行っています。「詳しい説明を聞いてよかった」「どこに受診すればよいかわかった」「困っていることの相談ができた」などご好評をいただいております。

連携医療機関の皆様からのご相談・ご依頼は今までどおり医療連携室宛で結構です。今後とも、よろしく願い申し上げます。

◆センター新施設紹介 (Vol.5) ◆

今年はじめに地上躯体が見え始めてから半年余り、平成24年8月10日時点で、病棟となる高層棟が9階部分の柱・梁、研究棟となる北側の低層棟は4階部分の柱・梁を構築しているところです。このあと、概ね10日で1フロアを立ち上げていき、9月下旬には上棟する予定となっております。

当センター新築工事では、従来の鉄筋コンクリート工法に加え、高層部分はあらかじめ工場で製作した柱・梁などのコンクリート部材を現場で組み立てる「プレキャストコンクリート工法」を採用することで、工期の短縮を図っております。また、限られた敷地で効率的に作業を進めるため、南側の外来棟部分は本格的な工事が始まる9月上旬まで、重機・作業エリアとして活用しています。



10階柱・梁構築の様子